

平成30年度文化庁日本語教育大会・東京大会

<2日目：9月9日（日）12:00～13:30>

IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう！～

近年、学習者の増加や通信技術の発達により、日本語教育の在り方も多様化しています。インターネットやスマートフォン、通信による学習の支援など、その形態はさまざまです。ここでは、こうした「IT・通信」を活用した日本語教育を実施している先進的な団体に、その教材や学習支援の方法について紹介していただきます。



発表団体

	都道府県	団体名	紹介教材名
1	東京都	インターカルト日本語学校	○電子教材作成アプリ「Finger Board」 ○発音トレーニング教材「トレパJ」 ○日本語eラーニング教材「スーパー日本語」
2	東京都	カイ日本語スクール	○教師が自分で作るデジタル教材いろいろ
3	東京都	学校法人江副学園 新宿日本語学校	○Visual Learning Japanese (VLJ) 反転授業用のe-Learning システム ○VLJ アプリ（単語帳アプリ・文法アプリ） ○「ひらがなカタカナ練習帳」 ○「新実用日本語1・2」
4	東京都	野村愛（首都大学東京）	○「かいごのご！」
5	東京都	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター YSC グローバル・スクール	ONICO／にほんご×こどもプロジェクト